

県医労新聞

2008年7月

盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合

電話 019-623-8271

FAX 019-623-8273

編集発行人

佐々木 茂 喜

毎月1回発行 1817号(月刊32号)

50周年記念 原水爆禁止 国民平和大行進



国民平和大行進 6月9日(岩手町～盛岡市)



6月15日(一関～宮城県栗原市)

— 目 次 —

- 1P 国民平和大行進
- 2P 第64回定期大会
日本医労連第30回保育所会議
- 3P 看護部会ニュース
- 4P 女性部ニュース
- 5P 青年部ニュース
- 6P つぶやき、パズル当選者
とんがらし
- 7P 職場川柳、懸賞パズル
岩手県医療研のお知らせ
8月の予定



6月7日

金田一温泉駅～
二戸市・石切所公民館

県内トップバッターは二戸支部。カメラに向かって「Peace!」子ども達のためにも平和が一番。支部から10名が参加しました。

国民平和大行進 県内行進

今回は天候にも恵まれ、五十周年という節目の平和行進で多くの参加者を集い行進しました。県医労各支部からも組合員が参加し、世界平和と核兵器廃絶を願う行進しました。



6月8日

二戸市・石切所公民館～
岩手町・さわやかクリニック

一戸支部からも4名が参加。岩手町内の行進では、車いすの方も参加し和気藹々と行進しました。



6月9日

岩手町・さわやかクリニック～
岩手県公会堂

通し行進者が東京の医療生協役員であることから、多くの医療生協組合員が参加。盛岡大学の学生が写真の横断幕を持って行進。



6月12日

花巻市・なはんプラザ広場～
北上市・大曲公民館

北上と花巻では、行進とあわせ、戸別訪問で核兵器廃絶署名を集めました。通し行進者の森悦子さん（写真右）も初めての体験とながらも、堂々と署名を訴えました。



6月10日

県公会堂～紫波町役場

炎天下での行進に、川久保病院では、冷たい麦茶を用意して多くの職員の皆さんが歓迎。紫波町役場では高橋副町長（写真右）から、あたたかい激励を受けました。



6月15日

一関文化センター～
宮城県栗原市・若柳公民館

前日に起きた地震の被災者に配慮して「静かな行進」をしました。無事、宮城県に引き継ぎました。



6月13日

北上市役所～
奥州市・後藤新平記念館

北上と奥州市でも戸別訪問し署名を集めました。北上市の出発集会では、市長があいさつをし、平和への思いを訴えました。

第六十四回定期大会

みんなで決め、みんなで活動する 「元氣な県医労をつくらう！」

六月二十、二十一日、花巻温泉「ホテル紅葉館」を会場に、県医労第六十四回定期大会が開催され、

運動方針等が可決され、規約・規程を投票で改正。新役員を選出しました。今年の定期大会は、来



賓にいわて労連、岩手医労連、日本共産党、社会民主党、東北労金の各代表が出席、民主党からはメッセージが寄せられました。午後からの運動方針の討論では、「休憩時間が取れない」「衛生委員会が長時間労働を毎月チエックするよう

にさせた」など、職場からの報告がありました。特に、来年三月で閉所を予定している院内保育所問題では、六支部七人から発言があり、保育士の

雇用に全力で取り組むことを確認しました。また、リーダーと人事考課シートの関係で各病院によって対応がまちまちであり、一部混乱していることも報告されました。

支部名変更などの規約改正が提案され、再任用組合員の組合費については、当該の代議員から問題ない、組合員としてガ

投票により四分の三以上の賛成で可決されました。新役員については、新副委員長に〇〇〇〇〇〇さん（前中執）、新中執に〇〇〇〇〇〇さん、新会計監査に〇〇〇〇さんがそれぞれ信任されました。

詳細は八月号でお知らせします。

加速する委託化と 二十四時間保育の流れ

日本医労連第三十回保育所会議が六月八・九日、東京「全労連会館」で開催され、六全国組合十五県医労連から六十四名が参加しました。

日本医労連の小松民子書記次長による基調報告では、少子化に加え、「負担能力指数」や「保育料収入相当額」による大幅な補助金カット、消費税課税問題など、院内保育所の存続が、ますます厳しくなっていることが話されました。

二つの分散会で現状や問題点などを交流する中で、女性医師や看護師確保対策としての「二十四時間保育の導入」と「院内保育所の委託化」が全国で急速に進められようとしている実態が明らかになりました。

九日午後からの厚生労働省交渉には二十四名が参加し、院内保育所への予算拡充などを訴えました。

労働安全衛生活動の強化へ ～第2回全国交流集会開催～

日本医労連主催の労働安全衛生活動全国集会が、五月二十四～二十五日、熱海で開催されました。全国三十五都道府県より、一〇一名（うち県医労から三名）が参加し、学習と活動交流を行いました。



集会では、「医療労働者のメンタルヘルス対策と安全活動」と題して池田寛副委員長が講演。職場の過重労働や働く者の健康状況とメンタルヘルスの関係、安全衛生活動のポイントを解説しました。

特別報告では、「労働活動の取り組み」について全医労・新潟犀潟支部の〇〇〇〇さんから女性部が毎月の点検活動で職場実態を把握し、執行委員会では報告・検討。院内パトロールを定着させ、問題を一つひとつ解決したことなどが、報告されました。

両日とも労働安全活動とメンタルヘルス対策の強化をテーマに、三分散会で交流しました。分散会の報告で産業医は労組が育てていかなければならない。パワハラ対策も必要だ、などの意見が出されました。

まとめ報告では、活動が着実に前進していることが確認されました。

人事考課に「クリニカル・ラダー
これ以上、負担を強いないで

第一回看護部会では、夜勤が身体に及ぼす影響についてミニ学習会を行いました。

課での各病院の対応が、全くまちまちであると、ラダーも人事考課

産業衛生学会意見書では、交替制勤務が身体・精神に対して有害な事を明言し、遵守すべき基準について挙げ

しています。例えばその中には、「(一)交代勤務の週労働時間四十時

間を限度とする。」とあります。つまり三交替

をしている職員は、超過勤務してはいけな

いんです！いかに常日頃身体を酷使しているの

か、実感した次第です。職場交流では、六月

から導入された人事考

課の目標シートで統一すると、現場は全く理解して

いない状況です。各病院への指導を徹底し

て、人手不足の中で精一杯働いている職員に、これ以上、余計な負担を



強いしないで！

県医労女性部第51回定期大会

みんなで
大会を盛りあげ
ましょう



と き 7月11日(金)13:30~
12日(土)12:00

ところ ホテル森の風鶯宿(栗石町)

講 演 「はたらく女性の心と身体」

講 師 加 藤 幸 先生(川久保病院医師)

いわて女性・九条の会 3周年記念 浅野富美枝先生講演会



家族生活における 個人の尊厳と両性の平等

第24条 婚姻は、両性の合意のみに基づいて成立し、夫婦が同等の権利を有することを基本として、相互の協力により、維持されなければならない。

②配偶者の選択、財産権、相続、住居の選定、離婚並びに婚姻及び家族に関するその他の事項に関しては、法律は、個人の尊厳と両性の本質的平等に立脚して制定されなければならない。

書かれていることは逆の精神が

書かれました。

「女は男に従うもの」「子なき女は去るべし」など、二十四条とは逆の精神が書かれています。

「女は男に従うもの」「子なき女は去るべし」など、二十四条とは逆の精神が書かれています。

とや、女性が子どもを産んで、増やすのも、国の方針のもとにすめられてきたことなどが話されました。



講師の浅野富美枝さん

「産む機械」から「人間」へ

五月二十五日、「いわて女性九条の会」が、三周年を記念して講演会を行いました。会場の奥州市水沢区のメイプルには、県内から六十六人が参加。『産む機械』から『人間』へ―憲法九条と二十四条を考える―と題し、浅野富美枝さん（宮城学院女子大学教授）が講演しました。

みんな みちのくアクトに 来やがれ!

プレアクト
いわて



8月のアクト、乞うご期待。
みんなで、集まって、騒ごうね!

五月二十四日、二十五日の二日間、八月に開催される「みちのくアクト」の下見を兼ねた「プレアクトいわて」が、会場となる盛岡市と八幡平市で開催されました。

集会には、東北各県からもみちのくアクト中央実行委員が参加。全体で三十五名が参加（県医労からは六名）し、大いに盛り上がりました。

中央実行委員会では、八月の「みちのくアクト」成功へ向けて、企画・内容をさらに磨き直し、参加者全員で成功させることを確認しました。



8月のアクト、がんばろう



〈八幡平編〉

松尾歴史民族資料館にて



〈手作り村編〉

南部鉄器の作業場を見学



八幡平にはまだ雪が...



竹馬に挑戦。たのし〜。

下見もバズキー!

つばやま

今年もツバメがやって来て、ひなの誕生を楽しみにしていたのに、カラスがやって来てイタズラ、イジメをして、ツバメが来なくなっていました。非常に淋しいです。

磐井支部 チャピーママ

朝起きると、あたり一面、水浸しに。どうやら洗濯機を移動した時に排水の管が抜けやすくなっていたようで、布団を買ったり、クリーニングに出したり、復旧に一日かかりました。しまいはカミさんに「二度目はないよ」ときっちり絞られました。トホホ...

花泉支部 父ちゃん心得

永年勤続休暇、結局取ることができませんでした。今年、その分休みがもらえ

ないかなあ...

大船渡支部 エアグルーヴ

車の窓を全開にして走ると、田んぼの甘い香り...夜は遠くでケロケロとカエルが鳴く声を子守歌に眠りにつく幸せ♡最高です♡♡岩手に生まれて良かったあ(人^人)♡

中央支部 クッキーママ

制服が変わりますが、あまりのスケスケに女子みなビックリしてます。しかもスけるわりには、風通しが良くなく暑いです(人^人)。一

体何を基準に決めたのか疑問です。

大船渡支部 匿名希望

当院は今、改修工事、機能評価、七対一、ER対応など、大変な業務が続いている。中央病院を出たい、辞めたい、意欲が出ないなど、職員の健康管理が不良。弱肉強食が医療にも押し寄せてきている。現医療政策と機能評価とは、かみ合わないことに疑問や気づきを持つている人も多い。

中央支部 希望が持てない壊れ日本

五月号パズル 当選者発表

五月号の新春パズル「まちがいは七つ」には、二十一名の応募があり、二十名が正解でした。厳正なる抽選の結果、次の十名が当選されましたので図書カードを贈ります。

当選者(敬称略)

コハクママ(久慈支部)、

〇〇〇〇(九戸支部)、〇〇

〇〇〇、マクマク(以上、胆

沢支部)、〇〇〇〇〇(南光

支部)、父ちゃん心得(花泉

支部)、ドスコイ王子(千厩

支部)、六年記念日(大東支

部)、遼祐(高田支部)、エア

グルーヴ(大船渡支部)

とんがらし

六月八日、日曜日、沖縄県議選が行われました。結果は、自公勢力が大幅に議席を減らし、与野党が逆転しました。たかが

地方の県議選、と言うなかれ。沖縄は、まさに、日本の政治のあり方に左右されてきましたし、今後の国の政治を占う重要な地域でもあります▼ところが、翌九日は、新聞休刊日。しかも、秋葉原でのショッピングな事件が起き、マスコミが雪崩を打ってそちらに流れたという事情があったにせよ、完全無視。報道されても、豆粒程度でした。まるで、自公勢力が惨敗したことを国民の目から隠そうとしたかのようです。▼沖縄の地元紙琉球新報は次のように報じています。吹いた「変革」の風基地問題への対応や雇用・経済振興策、教育・福祉環境の

整備など従来の争点に加え、後期高齢者医療制度の是非が与野党の大きな対立軸として浮上。暫定税率を復活させガソリンを再値上げした施策を含め、県政だけでなく、国政への評価も問う地方選挙として全国的にも注目された。」と▼マスコミの力は絶大です。嘘でもテレビで報じられれば、多くの人が信じます。売り切れ騒動の納豆ダイエツトが良い例です。それが多くのの人にとって、命に関わるような大切なことであっても、報じられなければ、何もなかったと同じになってしまう▼中国・漢の時代の逸話から「眼光、紙背を徹す」という言葉が生まれましたが、目を凝らし、見えないものも見透す力は、いつの代も必要なのです。そういえば、みのもんたが、安倍晋三や石原慎太郎と親交を結んでいるって知ってましたか。

やき」(職場の話題など何でも)を、ぜひ一言お書き下さい。県医労新聞で紹介する場合がありますので、匿名希望の場合には、その旨を書いて下さい(ペンネーム可)。ただし、当選した場合は、記念品の送り先が必ず要となりますので、支部名・本名の記入もお忘れなく！